

次世代のライフプランニング教育推進事業

大学生のための ライフプランニング 教育プログラム

～固定的な性別役割分担意識に捉われないキャリア形成のために～

次世代のライフプランニング教育推進事業

超長寿社会を迎える我が国では、従来のように教育・仕事・老後という単線型の人生から、退職後に再び教育を受けて複数のキャリアを経験するなど、複線型のライフスタイルへ移行すると予想されています。これまでより長期的かつ多様な視点に立ったライフプランニングの必要性が高まっています。

これを踏まえ、文部科学省では、令和元年度から令和2年度に渡り、若者が男女共同参画の視点に立って、自らの将来の職業や様々なライフイベント、社会において果たす役割等について考える機会を充実させるための、学校現場等において活用できる教育プログラムの開発を行いました。

本リーフレットでは、この学校現場等において活用できる教育プログラムをご紹介します。

男女共同参画の視点を踏まえたキャリア教育の実施状況

多くの大学がキャリア教育を実施していますが、具体的な教育内容をみると、男女共同参画の視点を踏まえたキャリア教育を実施している大学数は少ない状況です。

表1【学部段階】教育課程内でのキャリア教育の実施状況

1-① キャリア教育を教育課程内で実施している大学(単位:大学)



具体的な内容 1-② 女性の多様なキャリアを意識したもの等、男女共同参画の視点を踏まえたキャリア教育を実施している大学



表2【学部段階】教育課程外でのキャリア教育の実施状況

2-① キャリア教育を教育課程外で実施している大学(単位:大学)



具体的な内容 2-② 卒業生の女性による講演会等、男女共同参画の視点を踏まえた特別講演等の開発を行っている大学



※参照:

平成30年度の大学における教育内容等の改革状況について(この調査では、国立:86大学、公立:85大学、私立:590大学の計761大学が回答)

※表1は、大学院のみを設置する大学は母数に含めない。

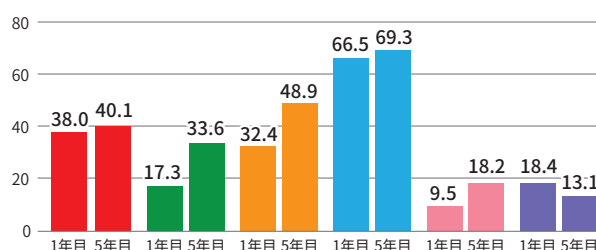
キャリアに対する意識の男女差(管理職を志向しない理由)

民間企業の正規職に就いた男女(大卒・大学院卒)のキャリア意識の変化等を5年間追跡調査した(独)国立女性教育会館の「男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査」結果では、管理職を志向しない理由に男女差が見られます。

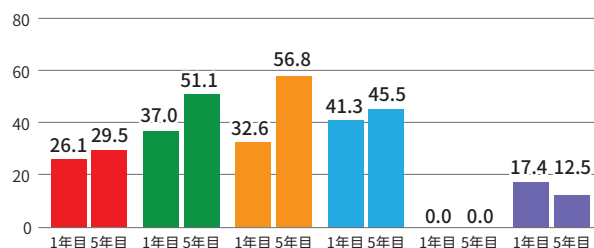
女性では、「仕事と家庭の両立が困難」が最も多く、割合は低いものの男性にはない「同性の管理職がないから」という理由も見られます。

表3 管理職を志向しない理由

●女性



●男性



※分析対象:管理職を「目指したくない」「どちらかという目指したくない」と回答した男女

(女性:1年目179人、5年目137人、男性:46名、5年目88人)

※参照:(独)国立女性教育会館『「男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査」結果—入社5年で何が変わったのか—』

信州大学 教養教育(教職科目を含む)における ライフプランニング教育プログラム開発

1. プログラムの特徴

本プログラムは、教養教育科目や教職課程科目におけるキャリア教育系の様々な科目において活用することができるよう、教材をモジュール化しており、男女共同参画社会実現に向けたライフプランニングを扱う学びに活用していただくことができます。

2. プログラムについて

① 概要、狙い

男女共同参画社会の実現の視点を踏まえながら、働くことの在り方を展望する機会を充実させ、豊かな社会を構成員全員で作り上げていくという主権者意識を育成するとともに、一人一人の豊かな生活の実現に向けてのライフプランニングに関わる教育プログラムです。学生がキャリア・アンカーを意識し、これまでの固定的な意識・慣習を乗り越え「男女共同参画社会の実現」と「生きがいを持って充実した生活を送る」ことを目的としたライフプランをデザインできるよう「講義」「体験活動」「演習」の3つの形態を組み合わせた授業が展開できるような教材(含インタビュービデオ)を開発しました。対面を前提としたプログラムですが、オンラインでも実施可能です。

② 授業の流れ

今後のキャリアを展望する上で理解すべき諸テーマ(人生100年時代、ワーク・ライフシフト、SDGs、人権と差別、男女共同参画、地方創生、主権者教育、金融経済教育など)に関する理解を深めることを目的にした講義を行い、その後のワークで、諸テーマに関連する内容やキーワードに着目しながら、自身のキャリアデザインを展望します。教養系科目ではテーマに沿った体験活動やフォーラム等の演習を、教職系科目では教材研究・指導計画の作成や学習ボランティアを通じて、学生自身の「キャリア・アンカー」を具体的に意識する活動を行います。

③ 授業ツール(教材、ワークシート等)

- ・キャリアデザインハンドブック
「キャリアデザイン入門」等の受講時に活用する補助教材
- ・授業・動画スライド
- ・インタビュービデオ



3. 受講者の意識の変化

受講前のアンケートでは、「ジェンダー」や「男女共同参画社会」といった「ことば」は知っていても、その詳細について理解している学生は少ないという結果でしたが、講義やグループワークを通し、学生からは、「若者が積極的に社会に関わらなければ、男女共同参画社会は実現できない」「ワークライフバランスを考えたクリエイティブな人材になりたい」「学校現場で、子ども一人一人がジェンダーに関して深く考えるきっかけを作りたい」といった感想が寄せられました。男女共同参画社会への認識を深めるとともに、自らのライフプランを考えるきっかけづくりにつながります。

POINT

実施上のポイント

- ・固定化された教育プログラムではありません。教養系科目や教職系科目のあらゆる授業で、男女共同参画社会実現に向けた内容を扱う場面がある場合、必要に応じて開発した教材を活用できます。
- ・オンラインで実施の場合、e-learningシステムなどにより学生の進捗状況を把握した上で、テーマを設定し、教員がファシリテーターとして参加しながら、意見交換を行うことでより学びを深めることができます。

URL <http://kyoushoku.shinshu-u.ac.jp/lifeplanning/>



人生を切り拓くライフプランニング教育

1. プログラムの特徴

本プログラムでは、就職に向けた「対策」ではなく、男女共同参画の視点にたった大学卒業後の働き方、暮らし方について具体的に考える機会を多様に設け、進路や職業を主体的に考え、選択する「人生を切り拓く力」を養うことができます。大学生活をライフキャリアの一部と捉え、大学時代にどのような力をつけるべきかを学生自らが考えることを目指しています。

2. プログラムについて

①概要、狙い

アクティビティと講義を組み合わせたワークショップ形式で実施します。特に、ワークシートへの記入や、グループディスカッション等、学生が自身の希望や不安を言語化し共有するアクティビティによって、自己理解やコミュニケーションスキルの向上を支援します。将来を考えることに前向きになるように、社会人の体験談を聞く回も設けています。

②授業の流れ

事前学習→授業→事後学習の流れにより、社会構造や自身に対する気づきを深め、行きたい方向に自分を持って行く「人生を切り拓く力」を養います。例えば「キャリアデザイン入門」第1回では、事前学習としてワークシート「30歳の日記」を記入。授業では、グループディスカッションと、キャリアとジェンダーに関する講義を実施、終了後は「振り返りシート」を記入します。ワークシートや教材コンテンツ、グループワークは対面・オンラインどちらでも活用できます。

③授業ツール(教材、ワークシート等)

【ワークシートの例】

「30歳の日記」…30歳になった自分の生活を具体的に想像して日記を書く
 「日本の男女平等度意見交換シート」…身近な人と日本の男女平等度、仕事と育児について意見交換した結果を記入する
 「振り返りシート」…授業の感想、気づいたこと、意見等を自由に記入します

【教材コンテンツの例】

「ワークライフバランス」…講義音声。発展的学習課題およびワークシート付属
 「学生時代の私に今伝えたいこと」…20～30代社会人3名がキャリアについて語った動画、「ライフコースの多様化と仕事」等をテーマした動画
 ・事前・事後アンケート…受講動機、希望ライフコース、学習による意識変化を確認できるアンケート



3. 受講者の意識の変化

女子大学、共学大学ともに7割が将来の生き方や働き方を考えるのに「大変役立った」と回答しました。自由記述では「自分を以前より理解できるようになった」「先入観にとらわれなくなった」「将来の選択肢が増えた」「将来を考えることに前向きになった」「社会で生きていく自信につながった」「他の学生と話し合っって刺激を受けた」などの回答が多く寄せられました。

POINT 実施上のポイント

・ワークシートや振り返りシートは評価対象ではなく、自身の経験や思考を言語化して試みることであり、それによって授業での発言がしやすくなったり、認識の転換につながる気づきが生まれることを説明します。

・授業ツール、オンラインでのグループワーク方法等の詳細については、下記の聖心女子大学「人生を切り拓くライフプランニング教育」HPを参照ください。

URL <https://www.u-sacred-heart.ac.jp/student-support/career/life-planning/>



1. プログラムの特徴

本プログラムはワークショップや実習、プレゼンテーションなどのアクティブラーニングを多く取り入れています。「ライフイベント」「キャリア」「ジェンダー」についての講義に加え、ワークショップで自分自身の価値観を洗い出し、社会人の多様な生き方にふれること等により、自らにあったキャリアビジョンを描いていくプログラムです。

半期授業として実施が可能な14回のプログラムと、ライフキャリアを考えるきっかけとなる、1回プログラムを用意しています。どちらのプログラムも、対面授業、オンライン授業でも実施可能です。

2. プログラムについて

①概要、狙い

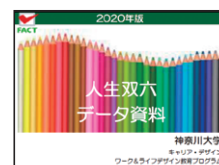
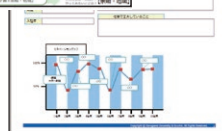
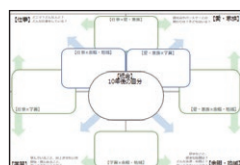
本プログラムは、男女すべての学生が「現在と将来」、「自己と社会」、「理論と体験」の3点、すなわち職業選択のみならずライフイベントへの理解、男女共同参画・多様性を尊重する視点に立った社会への理解、さらに地域連携による体験・交流の機会から知識や理論をより深い自己理解につなげることにより、長期的なキャリアを展望し主体的に意思決定する力を養うことを狙いとしています。

②授業の流れ

授業は、「自己理解」、「キャリアとジェンダー」、「共働き家庭での体験」、「振り返りと発表」の4つのテーマで構成されています。各テーマに合わせて、講義でインプットした後、ワークショップでは自分の考えを整理し、グループで仲間と体験を共有し、振り返りにより学びを深めていきます。

③授業ツール(教材、ワークシート等)

- ・10年後になりたい姿シート(4領域版・統合版)
- ・モチベーショングラフシート
- ・人生双六&データ資料2020年版
- ・自分の強みを見つけるワークシート 等
- ・プログラムを紹介する動画も用意しています。



3. 受講者の意識の変化

- ・「自分の将来になりたい姿に向けて何をすべきか具体的なイメージがあるか」との問いに、肯定回答が受講前60.0% → 受講後86.7%(26.7%ptUP)という結果から、授業を通して目標を設定し、実現に向けた行動が明確になったことがうかがえます。
- ・「制度が整っていない会社でも自分次第で仕事と子育ての両立を可能する自信がある」という問いに対し、肯定回答が受講前26.6% → 受講後73.8%(46.7%ptUP)と大きく伸びた結果となり、仕事と子育ての両立に対する自信を得たことが示されました。
- ・「対話やグループワーク、ヒアリングなどの時間を取り入れたオンライン授業は有効か」という問いに関しては、肯定回答100%でした。理由として多かったのは、画面を通して対話することによる、授業への参加意識の高まり、自分の意見をまとめ、言語化することの意義、他の学生や社会人の方の話から得た気づきや学びの多さなどであり、オンラインでもワークショップや対話を盛り込んだアクティブラーニングは有効といえます。

POINT

実施上のポイント

- ・オンラインでの実施の場合、オンライン会議ツール、ワークシートなどドキュメント共有ができるクラウドサービスなどを利用し実施します。
- ・社会人の登壇者や両立家庭など、地域の社会人を巻き込みリアルな話を聞くことのできる場を作ることがポイントとなります。

URL <https://www.kanagawa-u.ac.jp/>



関連事業のご紹介

高校生のためのライフプランニング教育プログラム

「家庭科」や「総合的な探究の時間」等、様々な教科等で活用することのできる約3時間のプログラムです。多様なライフプランを組み込んだストーリーシート(教材)やインタビュービデオを通し、自身のライフプランについて考える意欲を高めます。

委託先 広島県教育委員会

問合せ先 広島県教育委員会高校教育指導課
電話番号:082-513-4998

※事業の詳細や、開発した教材は、以下のURLからご覧いただけます。

URL <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/koutou.html>



教員向け

「学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム」

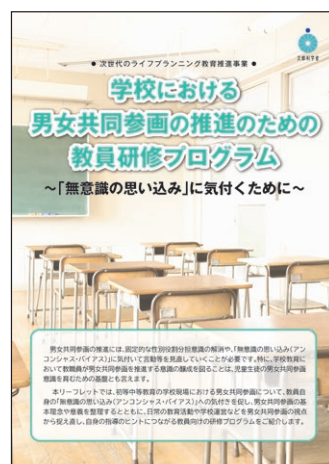
初等中等教育の学校現場における男女共同参画について、教員自身の「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」への気づきを促し、男女共同参画の基本理念や意義を整理するとともに、日常の教育活動や学校運営などを男女共同参画の視点から捉え直し、自身の指導のヒントにつながる教員研修プログラムです。

委託先 独立行政法人国立女性教育会館

問合せ先 独立行政法人国立女性教育会館
電話番号:0493-62-6725

※事業の詳細や、開発した教材は、以下のURLからご覧いただけます。

URL <https://www.nwec.jp/about/publish/jpk9qj00000009li.html>



事例に関する問い合わせ先一覧

国立大学法人 信州大学

住所 長野県松本市旭3-1-1

電話番号 0263-37-2271

URL <http://kyoushoku.shinshu-u.ac.jp/lifeplanning/>



聖心女子大学

住所 東京都渋谷区広尾4-3-1

電話番号 03-3407-5811

URL <https://www.u-sacred-heart.ac.jp/student-support/career/life-planning/>



神奈川大学

住所 神奈川県横浜市神奈川区
六角橋3-27-1

電話番号 045-481-5661

URL <https://www.kanagawa-u.ac.jp/>



問合せ先

文部科学省 総合教育政策局

男女共同参画共生社会学習・安全課 男女共同参画学習室

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

●ライフプランニング教育プログラムの開発(開発した教材や、報告書等について掲載しています)
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/detail/1421303.htm

